

## 船舶事故調査報告書

平成22年8月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委 員 横 山 鐵 男（部会長）  
 委 員 山 本 哲 也  
 委 員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年9月25日18時40分ごろ～23時58分ごろの間）
発生場所	不明（沖縄県今帰仁村運天漁港～同村古宇利島南方沖の間）
事故調査の経過	平成21年9月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート 錦丸、0.2トン 296-21893 沖縄、個人所有 3.32m (Lr) × 1.59m × 0.50m、FRP ガソリン機関、11.03kW、平成14年8月（登録）
乗組員等に関する情報	船長 男性 55歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成3年8月30日 免許証交付日 平成18年6月22日 (平成23年8月29日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長1人が乗り組み、平成21年9月25日（金）18時40分ごろ、古宇利島南方沖で釣りをするため、運天漁港を出航した。 23時58分ごろ、古宇利島南東部の護岸上にいた釣り人から海上保安庁に、古宇利大橋中央東側付近で無人の本船が旋回しているとの通報があった。本船は、翌26日00時30分ごろ古宇利港付近で燃料が切れて停止し、海上保安庁からの要請で出動した地元漁船によって、古宇利港にえい航された。 搜索の結果、06時30分ごろ古宇利港南方沖200m付近の海上で、うつ伏せの状態で見えている船長の遺体が発見され、死因は心臓性突然死と推定された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 1、視界 良好 海象：うねり 北東、波高 約1.3m、水温 約26℃
その他の事項	船長は、持病はなく、体調不良を訴えておらず、泳ぐことができた。 死体検案書によれば、船長の左肺には十分な含気があった。 発見された船長は、救命胴衣を着用していなかった。
分析	乗組員等の関与 不明 船体・機関等の関与 不明

	<p>気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 死因は、心臓性突然死と推定された。 本船は、18時40分ごろに運天漁港を出航後、23時58分ごろ、古宇利島南方沖において無人で旋回しているとの通報があったことから、この間において、船長が心臓性突然死を発症したものと考えられるが、発症したのは、落水前か落水後かは、明らかにすることができなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、運天漁港と古宇利島南方沖との間を航行中、船長が心臓性突然死を発症したことにより発生したものと考えられるが、発症した状況を明らかにすることはできなかった。</p>	